

令和4年4月19日に小学校第6学年を対象に実施された、「令和4年度全国学力・学習状況調査」の結果について、本校の概要をお知らせします。

国語

【成果の見られた設問】

(1)必要なことを質問し、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉える

学習において必要なことをメモしたり、分からないことや知りたいことを聞いたりする活動を意図的に設定することで力が身に付いてきたようです。今後も自分の考えをわかりやすく表現する場面を設定し、書いたり話したりする力を伸ばしていきます。

(2)漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書く

授業だけでなく、家庭学習でもドリルや漢字練習帳に丁寧に繰り返し書くことで、定着が図られています。また、タブレットPCを使って筆順や字形を練習したり、読み方を学習する機会も設けています。今後も文を書くときには、習った漢字を交えながら正しい文が書けるよう指導していきます。

【課題の見られた設問】

(1)互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、自分の考えをまとめること

(要因)

自分の考えをまとめ、書くことに課題が見られます。話し合いの内容やその意図、表や図、条件等を読み取り、必要な部分を引用して自分の意見などを書くスキルが身に付いていないようです。

(具体策)

- ・引用について正しく理解させ、立場を明らかにし、根拠をもって自分の意見を書いたり話したりする時間を、どの教科でも設定する。
- ・児童自身が自分事として問題点を話し合い、解決方法を考え、各教科の振り返りや日記、作文で表現する時間を大切にする。

(2)人物像や物語の全体像を具体的に想像すること

(要因)

物語全体の主題を捉える力が身に付いておらず、問題文を深く読み取れないために、条件を満たすための文を書くことができないようです。また複数の条件を満たした文を書くことにも課題が見られました。

(具体策)

- ・複数の条件を基に書く活動を意図的に設定し、書く力を伸ばす。
- ・文章量の多い問題にも取り組み、解く経験も積み重ねていく。

(3)文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること

(要因)

複数の文を比べ、例文の内容を踏まえた上で、文のよさを根拠をもって答える力が不足していたようです。

(具体策)

- ・文章量の多い問題を読んで解く経験を積む。(スタディタイム：発達段階に応じて全学年)
- ・視点をもった振り返りを発達段階に応じて行う。

【例】

低：(何が身についたか・勉強になったこと出来るようになったこと)

中：(何が身についたか・勉強になったこと+人との関わりの中で(対話・教師の言葉など)気づいたこと、比べて分かったこと)

高：(何が身についたか・勉強になったこと+人との関わりの中で(対話・教師の言葉など)気づいたこと、比べて分かったこと)+自分との関わりの中で次はこうしたい、自分の課題をどう解決していくかなど

算 数

【成果の見られた設問】

- (1)整数のかけ算の計算は十分に理解していました。
- (2)図形を構成する要素に着目して、図形の意味や性質について理解していました。

【課題の見られた設問】

- (1)示された場面において、目的に合った数の処理の仕方を考察できる

(要因)

- ・目的に合った数の処理の仕方(概数や四捨五入)が定着していなかったようです。
- ・示された場面についてのイメージが具体的でなかったようです。

(具体策)

- ・授業の中で、判断する場面や適切であるかどうかふりかえる場面を設定する。
- ・児童にとって苦手意識を感じる部分なので、取り扱う時間を多めに確保する。
- ・スタディタイムや宿題などの時間でパターン問題に取り組む。

- (2)2つの数量の関係について考察することができる(果汁の割合)

(要因)

- ・日常生活で見られる場面について、具体的なイメージが持てなかったようです。
- ・もとにする量や比べる量、割合の関係についての理解が十分でなかったようです。

(具体策)

- ・1000mlの牛乳パック等を用いて提示する、マスの実物に触れさせるなど具体物を使い、量感を育てる活動をする。
- ・もとにする量や比べる量、割合を定着させるための問題を繰り返し行う。
(スタディタイムや宿題などで)

- (3)図形の意味や性質を基に図形の構成の仕方を考察することができる。(プログラム)

(要因)

- ・図形の意味や性質についての理解が十分でなかったようです。
- ・プログラミング的な思考についてができなかったようです。

(具体策)

- ・求める(問題)や聞かれていることを正しく読み取る。
- ・角を形として捉えるだけではなく、「回転角」として捉えられるよう指導する。
(4年生「角の大きさ」)
- ・プログラミング時におけるコマンド(命令)の内容を正しく読み取るよう指導する。
(5年生「正多角形」)

理 科

【成果の見られた設問】

- (1)「昆虫の育ち方と主な食べ物」についての資料を複数読み取りながら、自分の考えをもつことができました。
- (2)器具(メスシリンダー)の正しい扱い方を理解していました。

【課題の見られた内容】

- (1)結果を基に理由を記述すること。
- (2)グラフの読み取りができない。
- (3)基礎・基本の定着が十分でない。

(具体策)

- ・児童が実生活の中で見つけた問題(疑問)に対して、児童が自ら表やグラフにまとめて分析し、解決策を見いだす等の問題解決活動を行う。
- ・考察の書き方として
 - ①条件とそれに伴う結果 (事実)
 - ②結果から考えられること(解釈) →この2つを整理して書かせるよう指導する。
- ・基礎力アップ問題に取り組む(スタディタイムや家庭学習) →小テスト実施する。